

今、SGEM CityというNFTゲームが注目を集めています。

SGEM Cityは『Zing株式会社』が2017年頃からイーサリアムのブロックチェーン上で開発を進めていたゲームで、2022年に正式にサービスが開始されました。

これまでのNFTゲームには、始めるのにお金がかかりすぎる、という問題がありました。

SGEM Cityにはその問題を解決するシステムが組み込まれていて、これにより新規のプレイヤーが参入してくるのではないかと注目されています。

今後のNFTゲームの変化につながるかもしれないSGEM Cityを解説していきます。

1. SGEM Cityとは？ ゲームの特徴

まず、SGEM Cityがどのようなゲームなのか、なぜ注目されているかについて解説します。

1.1 『Babo』というキャラを使うタワーディフェンス型のNFTゲーム

SGEM Cityは『Babo』というNFTキャラクターを使ったタワーディフェンス型のゲームです。

プレイヤーが使うBaboには種族が設定されており、組み合わせによって独自の戦術を組み立てることもできます。

ゲームモードは、『ソロモード』や『対戦競技』、『探索者派遣』など6つのモードが用意されています。ゲームを始めたばかりの人や、一人でゆっくり遊びたい人が気軽に遊べるのはもちろん、強いキャラを育てて、他のプレイヤーと戦わせることもできます。

1.2 PC・スマホで遊べて、日本語にも対応

SGEM CityはPC版だけではなく、iOS、アンドロイド両方のスマホ版もリリースされています。さらには、完全日本語対応です。

1.3 無料貸出の「スカラーシップ制度」

SGEM Cityの大きな特徴の1つが、Baboの無料貸出『スカラーシップ制度』です。

これまでのNFTゲームでは、ゲームを始めるまえにキャラクターを購入する必要がありました。しかし、ゲームが人気になるとキャラクターも高騰することが多く、始める前に数万円かかることも珍しくありません。

しかし、SGEM Cityの『スカラーシップ制度』によって、ゲーム開始に必要な3体のBaboを無料で借りることができるようになっています。

スカラーシップ制度は、初回貸出から30日間までしか利用できない、得られるトークンも30%ほどになったりと、制限もいくつか存在します。また、SGEM Cityを始めるためには、最低入金額として0.1ETH(約16,000円 2022/11/29現在)が必要になります。

無料とまではいきませんが、スカラーシップ制度が金銭的なハードルを大きく下げたことは間違いなく、これがきっかけで新規のプレイヤーの増加が期待されています。

1.4 2つの独自トークンがゲーム内で使用可能

SGEM Cityには2つのゲーム内トークンが存在しています。それが『AAトークン』と『OREトークン』です。

使用用途はそれぞれ違ってきます。

- ・AAトークン:繁殖やトレード、レベルアップで使用。通常のプレイでもらえます。

- ・OREトークン:SGEMのガバナンストークン。他のゲームでも使用できる予定です。

SGEMでは、SGEM City以外にも様々なゲームの開発が予定されていますので、稼いだトークンやアイテムが別のゲームでも使えると考えられています。

2. SGEMの遊び方

ここからはSGEMの遊び方について紹介していきます。SGEMは6つのモードが用意され、使用するBaboも現在3つの種類があります。

2.1 ソロモードや対戦、繁殖など様々なモードがある

SGEMのゲームモードは6つが用意されています。

- ・ソロモード:Baboやカードを駆使してステージクリアを目指します。

- ・対戦競技:他のプレイヤーの大本営を攻撃して、撃破するのが目的です。

- ・探究家派遣:建築をレベルアップさせる資源を集めます。

- ・坑井派遣:限られた時間内に穴をほって脱出をめざします。

- ・繁殖:2匹のBaboをブリードして、新たなBaboを誕生させます。

- ・トーナメント:優勝者にはAAトークンとOREトークンがもらえます。

一人で遊びたい方、ほかのプレイヤーと対戦したい方、それぞれの要望を満たせるモードがそろっています。

2.2 Baboの種族は3種類

ゲームで重要になり、NFT化されているのがBaboです。Baboには現在3種類の種族が用意されていて、それぞれに特徴があります。

- ・戦士系: 高いHPで近距離での戦闘が得意。
- ・魔法系: MPを消費して、強力な魔法が使えます。
- ・射手系: 攻撃範囲が広く、通常攻撃で拠点撃破が可能。

これらの種族を自由に組み合わせて戦うことができます。この3つ以外にも、今後のアップデートで新たな種族が追加される予定です。

2.3 3つの稼ぎ方

SGEM CityはNFTゲームのため、ゲームで遊んでお金を稼ぐこともできます。

トークンを稼ぐ方法は3つです。1つ目はソロモードやトーナメントで勝利すること、2つ目はBaboをマーケットプレイスに出品、3つ目はBaboの貸出です。

最後のBaboの貸出は、これはスカラーシップ制度を利用した方法で、保有しているBaboをレンタルに出すことで、ほかのユーザーがそのBaboを使ってバトルに勝利することで、報酬の30%を受け取ることができます。

スカラーシップ制度は、新規ユーザーが増えれば貸出で入ってくるトークンも多くなることが期待されています。

3. SGEMの始め方

ここからはSGEMの始め方について解説していきます。主な手順は以下のようになります。

- ・Coincheckの口座を開設して、ETHを購入する
- ・SGEM Cityのアカウントを作成する
- ・ETHをwETHに変換する
- ・Baboを購入、またはレンタルする

それぞれを詳しく見ていきましょう。

3.1 Coincheckの口座を開設して、ETHを購入する

Baboを購入するためにはETH(イーサリアム)をあらかじめ購入しておく必要があります。

ETHを用意するなら、国内ダウンロード数NO.1のCoincheckがおすすめです。

『コインチェックアプリ』でスマホから簡単にお取引が可能で、ETH以外の取り扱い仮想通貨も多く取り扱っています。今後、仮想通貨を運用する際にも便利に利用できます。

口座開設には、本人確認の書類が必要になりますので、あらかじめ用意しておくスムーズな手続きが可能です。

Coincheckが本人確認書類として有効としているものは以下になります。

- ・運転免許証
- ・運転経歴証明書
- ・マイナンバーカード(個人番号カード)
- ・住民基本台帳カード
- ・パスポート
- ・在留カード
- ・特別永住者証明書(外国籍の方)

これらのどれかを用意したら、Coincheckのサイトにアクセスし『会員登録』をクリックし、以後はサイトの説明にしたがって入力していきます。

会員登録が完了したら、次はETHを購入します。

『メニュー』画面の『ホーム』から取引所を選択し、そこからETHを選択して、購入したい数量だけ入力します。

SGEM Cityをプレイするには、最低でも0.1ETH必要なので、0.1ETH以上は購入するようにしましょう。

3.2 SGEM Cityのアカウントを作成する

次は、SGEM Cityのアカウントを作成します。公式サイトトップページから『ゲーム開始』のボタンをクリックしてください。

アカウント登録画面に移行するので、メールアドレスとパスワードを入力します。

もしMetaMaskなどのデジタルウォレットに登録していれば、ウォレットとSGEM Cityを紐づけすることもできます。任意のユーザー名を登録すれば、アカウントの作成完了です。

ゲームが開始され、Baboを購入できる画面になります。

3.3 ETHをwETHに変換する

紐づけしたウォレットがあれば、ウォレットにETHを送金します。すると、SGEM Cityのホーム画面にある紫色のETHのロゴが残高を増えています。

ETHのロゴをクリックすると『wETH』の変換画面に移行しますので、数量を指定して変換できれば、SGEM Cityでの利用が可能となります。

紐づけしたウォレットを利用しない場合は、wETHのアイコンをクリックすると、SGEM Cityのウォレットの画面が開きます。ウォレットのアドレスをコピーして、利用している取引所の送金ページに貼り付けて、送金を行います。

3.4 Baboを購入、またはレンタルする

変換したETHをもとに、マーケットプレイスでBaboを購入します。Baboの価格は常に変動していますが、2022年は1万円から5千円前後で推移しています。

まずは実際に遊んで感触を確かめたい、という方はスカラーシップ制度のレンタルを利用する方法もあります。

現在は30日間の限定ですが、Baboを購入せずにゲームを楽しむこともできます。

Baboを3匹用意したらゲーム開始となります。。

4. まとめ: 初期費用の問題を改善した注目作

これまでのNFTゲームは、人気が出るとキャラクターの購入金額が上昇して、新規が入りづらくなるという問題を抱えていました。

SGEM Cityはこの問題を『スカラーシップ制度』という仕組みで、ある程度、緩和させています。これが呼び水となり、新規参加者が増えて盛り上がれば、ゲームとしての発展、NFTゲームとしてより大きく稼げる可能性が高くなります。

まだまだコアなゲーマーがプレイするものというNFTゲームのイメージですが、SGEM Cityがヒットすることによって、より一般のゲーマーにも広がるのが期待されます。